

令和２年度第１回京都市百井青少年村のあり方検討会議

日 時 令和２年６月４日（木） １３：５０～１６：００

場 所 京都市百井青少年村

利用者のターゲット

（山本委員）

- ・ ファミリー層やイベント主催者をターゲットにしてはどうか。
- ・ 幅広い層の利用者を呼び込むのであれば、飲酒やペット持込みを認めるのも方法のひとつではないか。

（西田委員）

- ・ 現状では青少年向けの施設であるが、飲酒を認めるのであれば、利用者のターゲットが変わってくる。
- ・ 利用者のターゲットを見直すのであれば、施設名称も見直しが必要であると思う。

（浅川委員）

- ・ 飲酒を認めるのであれば、区画を分けるなどの整理がいるのではないか。また、車の利用者が多いためハンドルキーパー等のルールを定める必要がある。

（土井会長）

- ・ 現状では、家族連れ、子どもの団体や部活動等の利用者が複数いるので、子どもをベースとして、そこからターゲットを広げられると良い。
- ・ 大型バスは道が狭く入れないため、個人や小グループをターゲットにすべき。

利用目的

（山本委員）

- ・ バーベキューやファミリーキャンプ、イベント会場としての利用が良いのでは。

施設のあり方

（山本委員）

- ・ トイレ、屋外炊事場及び布団が汚いため、特に衛生にかかわるところは改善すべき。
- ・ 宿泊施設はテントのみで良いと思う。
- ・ 倒木や倒木寸前のものが多く、伐採が急務である。また、伐採したものを木材にして整備を行っても良いのではないか。
- ・ 雨天時でも使用できる屋根付きのバーベキュー場を整備してはどうか。
- ・ アスレチックなどの設備は経年劣化が避けられないため、メンテナンスが大変。釣りやクライミング、天体観測等のアクティビティを活かす方が良いと思う。
- ・ 売店や自動販売機がないため、施設内で地元の野菜等を販売するのはどうか。

（浅川委員）

- ・ 基本的な宿泊施設はテントで良いと思うが、救護が必要な場合に備えて建物内

にベッドが置けるようなスペースが必要である。

(畦崎委員)

- ・ ガールスカウトでは保護者に手伝ってもらうことも多く、テントに泊まってもらうわけにもいけないので、その方たちが宿泊できる設備が必要である。
- ・ 田んぼでの農業体験を過去に実施したが、田植えから収穫、食べるまで作物の成長を学ぶことができ、子どもたちにとって良い経験となった。その時は滋賀県まで行ったので、市内でできるのは良いと思う。
- ・ 屋根付きのバーベキュー場は他都市の施設で利用したことがあるが、とてもよかったので集客に繋がれると思う。

(竹内委員)

- ・ 救護が必要な場合に備えて宿泊できる建物があるという点は同意するが、それ以外には新たに資金を投じて施設を作る必要はないと思う。数年かけて関係者を増やししながらブランドを作り上げていくべきだと思う。

(土井会長)

- ・ トイレや炊事場をきれいにする必要がある。
- ・ 老朽化が進んでいる建物は撤去すべきだと思うが、撤去費用をどうするのか等、収支の問題と併せて考えていく必要がある。
- ・ 現在の利用者が新たな利用者と呼び込めるような魅力のあるものにすべき。
- ・ 不便な点をサポートしてだけでなく、地域との交流や自然との触れ合い、デジタルデトックス等の魅力をアピールしていけたら良いのではないかな。
- ・ 交流センターについては、今以上に様々な使い方ができると良い。

地域コミュニティ活性化への貢献

(山本委員)

- ・ 農家民泊は受入れが難しいと思うが、地元の農場を活かし、利用者に農業を体験してもらうのはどうか。プログラムを組み、作物の成長に年間を通して関わってもらうことで、定期的な訪問が見込める。

資金の確保

(西田委員)

- ・ テントサイトの利用者が一番多いのであれば、有料にしても良いのでは。

(浅川委員)

- ・ テントの持込みは仕方ないとしても、貸出も無料というのはやり過ぎではないかな。有料にすれば良いと思う。

(山本委員)

- ・ イベントを誘致するのはどうか。過去にも複数のイベントが実施されている。
- ・ バーベキューセットを貸し出してはどうか。

(土井会長)

- ・ 現状では無料で利用できるサービスが多いように思うので、見直しが必要と思

う。

- ・ 収支の問題はあるが、営利目的の施設ではないため、どのような位置付けの施設であるのか明確にする必要がある。

利便性

(西田委員)

- ・ 道が狭いため、普段からある程度車を運転しており、かつ一定の運転技術がないとそもそも来られないのではないか。
- ・ 送迎用のマイクロバスを有料で利用できるようにしてはどうか。

(竹内委員)

- ・ 通信環境が悪いが、子どもたちにとってはこのような環境があると知ることが大事である。

(西田委員)

- ・ 大人も普段の便利さから離れて、あえて不便な環境で過ごす時間を設けることも大事だと思う。

その他

(竹内委員)

- ・ 地元の方や利用者の声を聴く機会を設けるべきである。